平成28年度行政評価シート【個表】

平成 <u>28 年 6 月 28 日</u>

評価対象事業				評価者	生活福祉課長		田中 良一	
健福-08 社会福祉運営事業 □			自治事務	主管課	生活福祉課			
				法定受託事務	関連課			
総合計画上の 位置付け	分野	健康福祉		施策の方針	地域生活の	支援サービス		

1 事業の目的

拠等)

2 平成27年度に実施した事業の概要

	サネのロ 的	2 一十以2/十段に夫心しに事未り似女
対象	市民等	
意図	社会福祉事業の円滑な執行を支援するため。	・ポスターコンテストや講演会など、社会を明るくする運動事業を保護司会とともに 行った。 ・ 更生保護の仕事に従事している保護司会に対し、補助金を交付した。
効果	社会福祉の増進に寄与する。	

3 事業費等基礎データ

ゲータ の	データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備考
	人口	177,464人	177,243人	人口	176,869人	•各年3月31日
	世帯数	80,368世帯	80,676世帯	世帯数	80,928世帯	(住民基本台帳)
	事業の対象者数			事業の対象者数		
	決算値(千円)	631	525	当初予算(千円)	532	
運	国県支出金	0	0	国県支出金	0	
営 資 源	地方債	0	0	地方債	0	
真酒	その他	0	0	その他	225	
状	一般財源	631	525	一般財源	307	
況	人員配置数	0.5	0.5	人員配置数	0.5	
	人 件 費(千円)	3,763	3,843	人 件 費(千円)	3,878	
事	総事業費(千円)	4,394	4,368	総事業費(千円)	4,410	
経業 費運	市民1人当りの 経費(円)	25	25	市民1人当りの 経費(円)	25	
営	対象者1人当り の経費(円)			対象者1人当り の経費(円)		

4	評価	<u> </u>		※「効	率性」「妥当性」「有効性」「:	公平性」「協働」については、プルダウンで選択。			
効ዻ	云 小生	事業費に削減余地はないか		2. ない					
אט ב	- II	関連・類似事業との統合はできないか			2. 統合に向けた検討は可能				
		事業の実施に対する市民ニーズはある	るか	3. 変わ	3. 変わらずにある				
妥当	纟性	事業の廃止・休止による市民生活への影	/響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある					
		今後も市が実施すべき事業か		5. 豊か	な市民生活に寄与すること	から、今後も市が実施する必要がある			
有交	九性	事業の成果は得られているか		3. 十分	な成果が出ている				
ΉХ) IX	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか			の方向性や手法も適切であ	り、大きく貢献している			
公平	生性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-2. 秀	を益者はいるが、今後も公費	という全額市が負担すべきものである			
				\triangle -2. \dagger	「民等と協働して事業を実 が	 をすることはできない			
協	働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	協働宝	施済の場合のパートナー				
				加国人	加出が中のプリロマン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
		□ a:事業内容を見直す ⇒	見 □ 拡大						
事第容0		■ b:事業内容は現状通りとする	<mark>種直</mark> 類し □ 縮小	内 i 容 l					
向		□ c:事業を休止又は廃止する	<mark>の</mark> 🗆 その	他					
		□ d:他事業と統合し、本事業は廃止	:する =	⇒		事業へ統合			
予算	T ‡目	□ A:予算規模を拡大する	事業内容•予						
模0	方	■ B:予算規模は現状維持とする	算規模の方向			は、平成27年度に、給付の内容及び実績に鑑 を行ったので、平成28年度は現状維持とする。			
向	性	□ C:予算規模を縮小する	性設定の理由	°/ \ 100 lb		2 1 2 C			
総評	(評	En A Line (b) (1 - t) (b) (7 - 2 c) (c)		3 de 111 de 11					
価に対		.,. = = ,	市内に居任す	る仏所符	低所得者世帯への貸付等という事業の性質上、予算規模及び事業内容は現状				
		維持が望ましい。							
する え方	考	維持が望ましい。 また、"社会を明るくする運動"事業に から、現状維持が望ましい。	ついては、市	長が鎌倉	市地区推進委員長として係	R護司会とともに運動を推進する必要があること			

平成27年度事業実施 にあたっての課題 (前年度未解決の事項 を含む)	特になし							
課題解決のために行っ た平成27年度の取組	特になし							一部解決
課題とその理由	事業の活動内容とし う。				•	. 今後は他調	や協議をして	いく必要があ
〇 他市比較・ベンチマ	マーク(県内外自	治体など他	自治体や民間	団体との比	較値)			
比較事項								
団体名 鎌倉市								
他市実績								
比較事項								
団体名 鎌倉市								
他市実績								
比較事項			-	-	-		-	-
団体名 鎌倉市								
他市実績								
考え万 ② 事業実施に係る指	市内に居住する低所にはなじまない。	所得者世帯への)貸付及び行路者	への運賃給付等	等、市が改善できる事		ため、他市比較)	
指標の内容					位	储	向	備考
当該指標を設定した理		H26	H27	H28	H29	H30	H31	
	目標値							4
	実績値							4
	達成率						<u> </u>	
指標の内容					単位		漂の i向	備考
当該指標を設定した理	里由 年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
	目標値							_
	実績値							_
	達成率							
指標の内容					単位		漂の	備考
当該指標を設定した理	里由 年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
	目標値							
	実績値							_
	達成率							
当該事業実施に伴う 指標の推移に関する 考え方								
A + 44	·							
● 事業に関する特記 □ 第3期基本計画前		事業		■ 10倍不	予算措置してい	ス補助会も	(今まれる車	*